

本アンケートは、事故等による損害額および諸費用と、安全対策のための投資額・支出額が定量的かつ統一的に把握することができるようにすることにより、安全対策の実施が如何に有益かを安全担当者が経営層に説明することが可能なように検討するため、その実態を調査するものです。趣旨をご理解の上、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

製造業安全対策官民協議会サブWG（田村チーム）

## 0. 基本情報

(1) 御社名

(2) 事業所名（企業単位での回答を基本としておりますが、事業所としての回答の方がしやすい場合にはご記入ください。）

(3) 業種 ※プルダウンメニューよりお選び下さい↓（下のセルをクリックするとセルの右下に表示されます）

(4) 規模（製造に係る人員および一般管理に係る人員の合計人数をお答えください。）

正規職員 ; 名

非正規職員 ; 名（パート、アルバイト及び派遣職員の人数）

協力会社職員 ; 名（敷地内に常駐している全協力会社の人数）

(5) 連絡先

部署名

氏名

電話

メール

回答方法：該当する選択肢のチェックボックスをクリックし、レ点をつけてください

## 1. 保安事故および労働災害の発生による損害額および諸費用の算定について

保安事故：

「爆発・火災、漏えいなどの監督官庁に届けた事故等」を指し、高圧ガス保安法、消防法、労働安全衛生法等によるものを対象とします。

労働災害：

「死亡もしくは1日以上 of 休業を伴う業務災害」を指します（通勤災害は除きます。また、業務災害であっても死亡や1日以上 of 休業を伴わないものは除きます）。

(1) 保安事故や労働災害が発生した場合、御社では事故や災害により発生した損害額や諸費用をある程度算定したことがありますか（または今後、保安事故や労働災害が発生した際に損害額や諸費用を算定できるよう、あらかじめ算定方法を定めていますか）。

はい ⇒ (2) ~ (5) にご回答いただき、2にお進みください

いいえ ⇒ (6) および (7) にご回答いただき、2にお進みください

**(1) で「はい」と回答された方**

(2) 保安事故や労働災害による損害額や諸費用を算定した（または、あらかじめ算定方法を定めている）理由は何ですか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は、「⑥その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。

- ①事業所内で管理指標として活用するため
- ②事故発生前に安全対策にかけていた費用金額と比較するため
- ③本社や親会社から報告を求められているから
- ④保険金請求の資料として必要であるため
- ⑤株主や債権者への説明のため
- ⑥その他

理由： \_\_\_\_\_

(3) 保安事故や労働災害が発生した場合、損害額や諸費用をある程度算定している（または、あらかじめ算定方法を定めている）具体的な項目は何ですか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください（各項目の解説は、表1を参考にしてください）。

- ①財物の損害
- ②医療費
- ③給与支払い
- ④被災者への補償
- ⑤既存従業員への割増賃金
- ⑥新規従業員補填費用
- ⑦生産停止・減少の機会損失
- ⑧事故調査費用
- ⑨対策・改善に係る費用
- ⑩罰金、課徴金、過料
- ⑪保険料率の上昇
- ⑫組織幹部の対応に係る費用
- ⑬離職率の増加
- ⑭企業価値の低下
- ⑮企業の社会的信用の低下
- ⑯従業員の意欲低下

(4) 前問 (3) でレ点を入れなかった項目 (= 損害額や諸費用を算定していない項目、または、あらかじめ算定方法を定めていない項目) について質問します。算定していない項目は、下記 (A) から (D) のどれに当てはまりますか。算定していない損害項目それぞれにつき (A) から (D) のひとつを選択してレ点で示してください (もっとも近いもので結構です)。

- (A) 算定する手法やデータをもっており、かつ評価したいが、実際にはまだ評価していない
- (B) 算定する手法やデータをもっているが、評価する必要性がないため、評価していない
- (C) 評価する手法やデータがなく、かつ評価する必要性もない。もし手法やデータがあっても評価はしない
- (D) 評価する手法やデータはないが、もし手法やデータがあったら評価したい

①財物の損害	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
②医療費	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
③給与支払い	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
④被災者への補償	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑤既存従業員への割増賃金	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑥新規従業員補填費用	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑦生産停止・減少の機会損失	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑧事故調査費用	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑨対策・改善に係る費用	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑩罰金、課徴金、過料	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑪保険料率の上昇	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑫組織幹部の対応に係る費用	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑬離職率の増加	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑭企業価値の低下	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑮企業の社会的信用の低下	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)
⑯従業員の意欲低下	<input type="checkbox"/> (A)	<input type="checkbox"/> (B)	<input type="checkbox"/> (C)	<input type="checkbox"/> (D)

(5) 保安事故や労働災害が発生した後ではなく事前のリスク評価の段階で、もし今後事故が起きれば発生するであろう損害額や諸費用を定量的に予測していますか (事故を防止することによって回避することのできる損害額や諸費用は、安全対策がもたらす便益額と考えることができます)。次に示す項目のどちらかにレ点で示してください。

- はい。事前に定量的な予測をしている
- いいえ。事前には定量的な予測をしていない

**(1) で「いいえ」と回答された方**

(6) 保安事故や労働災害による損害額や諸費用を算定したことがない（または、あらかじめ算定方法を定めていない）とのことですが、算定に関する興味・関心や、算定のためのデータの状況についてご質問します。①から⑯に考えられる損害項目を示しました。損害項目のそれぞれについて下記 (A) から (D) のどれが当てはまりますか。損害項目それぞれにつき (A) から (D) のひとつを選択しレ点で示してください（もっとも近いもので結構です）。（各損害項目の解説は、表1を参考にしてください）

- (A) 算定する手法やデータをもっており、かつ評価したいが、実際にはまだ評価していない
- (B) 算定する手法やデータをもっているが、評価する必要性がないため、評価していない
- (C) 評価する手法やデータがなく、かつ評価する必要性もない。もし手法やデータがあっても評価しない
- (D) 評価する手法やデータはないが、もし手法やデータがあつたら評価したい

①財物の損害	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
②医療費	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
③給与支払い	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
④被災者への補償	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑤既存従業員への割増賃金	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑥新規従業員補填費用	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑦生産停止・減少の機会損失	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑧事故調査費用	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑨対策・改善に係る費用	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑩罰金、課徴金、過料	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑪保険料率の上昇	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑫組織幹部の対応に係る費用	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑬離職率の増加	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑭企業価値の低下	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑮企業の社会的信用の低下	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)
⑯従業員の意欲低下	<input type="checkbox"/>	(A)	<input type="checkbox"/>	(B)	<input type="checkbox"/>	(C)	<input type="checkbox"/>	(D)

(7) 保安事故や労働災害が発生した後ではなく事前のリスク評価の段階で、もし今後事故が起きれば発生するであろう損害額や諸費用を定量的に予測していますか（事故を防止することによって回避することのできる損害額や諸費用は、安全対策がもたらす便益額と考えることができます）。次に示す項目のどちらかにレ点で示してください。

- はい。事前に定量的な予測をしている
- いいえ。事前には定量的な予測をしていない

## 2. 保安事故および労働災害を防止する安全対策のための投資額・支出額について

- (1) 御社では安全対策のために要した投資額・支出額をある程度把握していますか。なお、ここでの「投資額」、「支出額」とは以下のものを指します。

投資額：企業会計において「固定資産」にあたるものを購入した場合の金額

支出額：消耗品や人件費など、安全対策にかかる費用のうち「固定資産」にあたるものを除いたものの金額

- はい                   ⇒ (2) および (3) にご回答いただき、3にお進みください  
 いいえ                   ⇒ (4) および (5) にご回答いただき、3にお進みください

### (1) で「はい」と回答された方

- (2) 安全対策のために要した投資額・支出額を把握する理由は何ですか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は、「⑤その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。

- ①事業所内で安全管理の指標として活用するため  
 ②安全対策の効果と比較することによって対策の効率性を評価するため  
 ③本社や親会社から報告を求められているため  
 ④株主や債権者への説明のため  
 ⑤その他

理由： \_\_\_\_\_

- (3) 安全対策のために要した投資額・支出額を把握するにあたって困難なことは何ですか。

次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は「⑤その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。

- ①何を安全対策投資・支出と見なせばよいのか、判断が難しい  
 ②データが社内の子々な部署に散在しているため、情報集約が難しい  
 ③複合コストの評価<sup>注)</sup>が難しい  
 ④経営資源（人員・時間など）の確保が難しい  
 ⑤その他

理由： \_\_\_\_\_

注) 複合コストの評価：

例えば、新規設備等が「安全性向上」と「安全性向上以外（生産性向上など）」の双方に寄与している場合、新規設備等導入コストのうちの何円分を「安全性向上」に要したコストと按分するか

**(1) で「いいえ」と回答された方**

(4) 安全対策のために要した投資額・支出額を把握していない理由は何ですか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は「⑤その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。

- ①把握する必要性を感じない

理由： \_\_\_\_\_

- ②把握したいし計算方法もわかるが、計算結果の活用方法がわからず、実施に至っていない
- ③把握したいし計算方法もわかるが、担当する人員や時間などが不足している
- ④把握したいが、計算方法がわからない
- ⑤その他

理由： \_\_\_\_\_

(5) もし今後、御社で安全対策のために要した投資額・支出額を把握するなら、困難であろうと思われることは何ですか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は「⑤その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。

- ①何を安全対策投資・支出と見なせばよいのか、判断が難しそう
- ②データが社内の子々な部署に散在しているため、情報集約が難しそう
- ③複合コスト<sup>注)</sup>の評価が難しそう
- ④担当する人員や時間などの確保が難しそう
- ⑤その他

理由： \_\_\_\_\_

注) 複合コストの評価：

例えば、新規設備等が「安全性向上」と「安全性向上以外（生産性向上など）」の双方に寄与している場合、新規設備等導入コストのうちの何円分を「安全性向上」に要したコストと按分するか

### 3. 安全対策のための投資効果について

(1) 御社では安全対策（機械設備などハード対策、安全衛生教育などソフト対策の双方を含む）の投資効果を確認するために、安全対策によって保安事故数・労働災害数がどれだけ減少したか（＝直接的効果）を実際に測定し、安全対策のための投資額・支出額と付き合わせ比較したことがありますか。

- はい
- いいえ

(2) 御社では、安全向上のための投資・支出が、直接的効果だけではなく、生産性向上や利益増などの企業業績向上にどの程度寄与したか（＝間接的効果）を定量的に分析・把握したことがありますか。

- はい
- いいえ

(3) 御社では（保安事故や労働災害が発生した後ではなく）リスク評価の段階で、安全対策の投資効果を事前評価するために、安全対策による直接的効果と間接的効果の金銭価値を予測して安全対策のための投資・支出予定額と付き合わせ比較したことがありますか。次に示す4つの項目のうち当てはまるものひとつを選択し、点で示してください。「いいえ」を選択した場合は、続く質問にもご回答ください。

- はい。**直接的効果**の金銭価値を予測し、安全対策の投資・支出予定額と付き合わせ比較したことがある
- はい。**間接的効果**の金銭価値を予測し、安全対策の投資・支出予定額と付き合わせ比較したことがある
- はい。**直接的効果と間接的効果の両方**の金銭価値を予測し、安全対策の投資・支出予定額と付き合わせ比較したことがある
- いいえ。直接的効果と間接的効果の金銭価値の予測値を、安全対策の投資・支出予定額と付き合わせ比較したことがない（あるいは、直接的効果と間接的効果の金銭価値を予測したことがない）。

⇒ その理由として次に示す項目のうち当てはまる項目すべてに点で示してください。適当なものがない場合は、「⑥その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。

- ①そもそも、直接・間接的効果の金額と投資・支出額を比較するという考えをもっていなかったから
- ②それらの比較をするという社内ルールがないから
- ③直接・間接的効果や投資・支出額の計算方法がわからないから
- ④そのような比較、分析をするだけの人的・時間的余裕がないから
- ⑤安全対策の効果と費用を比較するのは倫理的に適切でないから
- ⑥その他

理由： \_\_\_\_\_

#### 4. 安全対策のための投資や保安事故および労働災害発生による損害額や諸費用等の算定に関するニーズ、問題点

(1) 御社にとって、安全対策のための投資額・支出額と、それから得られる便益（対策によって回避することができる保安事故や労働災害発生による損害額や諸費用等）を管理することは有益であると思いますか。

- 有益であると思う ⇒ (2) と (5) にご回答いただき、5にお進みください
- 有益であるとは思わない ⇒ (3) と (5) にご回答いただき、5にお進みください
- どちらとも言えない ⇒ (4) と (5) にご回答いただき、5にお進みください

##### (1) で「有益であると思う」と回答された方

(2) 有益であると思う理由は何でしょうか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は、「⑨その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。次は (6) にお進みください。

- ①安全対策への投資額・支出額の適正金額を知ることができるから
- ②複数の安全対策の候補のうち、どれを実行すべきかの判断に役立つから
- ③安全対策の妥当性を経営層に説明するときに役立つから
- ④事故・災害発生リスクの低減に加え、生産性向上や利益増などの企業業績向上に繋がるから
- ⑤従業員の職場満足度の向上に貢献するから
- ⑥地域住民とのコミュニケーションに役立つから
- ⑦株主や債権者に提供する情報として重要だから
- ⑧労災保険料や損害保険料の節約に繋がるから
- ⑨その他

理由： \_\_\_\_\_

**(1) で「有益であるとは思わない」と回答された方**

(3) 有益であると思わない理由は何でしょうか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は、「⑧その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。次は（6）にお進みください。

- ①金額の管理が安全向上につながると思わないから
- ②複数の安全対策の候補のうち、どれを実行すべきかの判断に役立たないから
- ③安全に関する金額の管理は倫理的に適切でないと思うから
- ④企業業績向上などの波及効果も期待できないと思うから
- ⑤有益だとは思いますが、それ以上に手間がかかり、差し引きすると手間の方が大きいから
- ⑥他のマネジメントシステムと連動していないならば、使い物にならないから
- ⑦この管理をしても、従業員、経営層、および第三者の誰からも評価されないから
- ⑧その他

理由： \_\_\_\_\_

**(1) で「どちらとも言えない」と回答された方**

(4) どちらとも言えない理由は何でしょうか。次に示す項目のうち当てはまる項目すべてにレ点で示してください。適当なものがない場合は、「⑧その他」を選択したうえで理由を簡単にご記入ください。次は（6）にお進みください。

- ①金額の管理が安全向上につながるかどうか不明だから
- ②複数の安全対策の候補のうち、どれを実行すべきかの判断に役立つかどうか不明だから
- ③安全に関する金額の管理が倫理的に適切かどうか分からないから
- ④企業業績向上などの波及効果が期待できるかどうか分からないから
- ⑤有益だとは思いますが、それ以上に手間がかかり、結局は手間の方が大きい可能性があるから
- ⑥他のマネジメントシステムとの連動について不明だから
- ⑦この管理が従業員、経営層、第三者等から評価されるかどうか不明だから
- ⑧その他

理由： \_\_\_\_\_

(5) 安全対策のための投資額・支出額や、それから得られる便益を管理することについてのご意見・お考えを、自由にお書きください。

[ \_\_\_\_\_ ]

## 5. 安全対策のための投資や保安事故および労働災害発生による損害額や諸費用等の評価ツールについて

(1) 安全対策の投資効果（投資額・支出額1円あたり、保安事故や労働災害による損害額や諸費用の発生を何円減らすことができるか）の評価を実行するツール（＝ソフトウェア）があれば、有益であると思いますか。

- 有益だと思う
- 有益だと思わない

(2) 安全対策の投資効果に関して、具体的な計算過程や計算結果の数値例、計算結果を安全管理に応用した具体例等を掲載した事例集があれば、有益であると思いますか。

- 有益だと思う
- 有益だと思わない

(3) 海外には労働安全衛生対策の費用と便益を評価するためのソフトウェアがあります。これらのソフトウェアを使ったことがありますか。

- ソフトウェアの存在を知らなかった
- ソフトウェアの存在は知っていたが、使ったことはない
- ソフトウェアを使ったことがある

ソフトウェア名称： \_\_\_\_\_

(4) もし中央労働災害防止協会が労働安全衛生対策の費用と便益を評価するためのソフトウェアを開発するならば、実現して欲しい機能は何ですか。ご自由にお答えください。

※本アンケートにご記入いただいた個人情報は、当協会にて慎重に管理し、回答に不明点があった際の確認（問合せ）及び集計以外の目的では使用しません。ご不明点は、下記までお問合せください。

製造業安全対策官民協議会（田村チーム）事務局（中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部）  
TEL 03-3452-6186 鈴木

表1；保安事故および労働災害発生による損害および諸費用の項目

No.	項目	内容
①	財物の損害	建物、機械設備、製品、原材料等が爆発、火災、破裂、漏洩等により被る損害。
②	医療費	事故現場での応急処置や病院への搬送など医療として緊急に生じる費用。事故対応によって消費した、あるいは事故によって破損した備え付けの医療用器具の入れ替え費用等も含む。
③	給与支払い	日本では業務災害が発生した場合に休業1～3日目の休業補償は労働者災害補償保険からは給付されない。したがって、事業主は労働基準法が定める休業補償（平均賃金の60%）を労働者に直接支払わなければならない。
④	被災者への補償	医療費や（従業員については）休業中の休業補償とは別に発生する賠償責任による補償。
⑤	既存従業員への割増賃金	事故による影響で従業員数が一時的に減った場合に、新規従業員を雇わずに生産規模を維持しようとする必要になる既存従業員への割増賃金。
⑥	新規従業員補填費用	事故による影響で従業員数が一時的に減った場合に、生産規模を維持するために新規従業員を雇用する場合の費用。新規雇用に要する事務的費用や、新人教育に要する人件費等からなる。
⑦	生産停止・減少の機会損失	機械設備の事故による生産停止・減少、これらの損失を緩和するための中間製品の外部購入費用や転送費用等の追加的に発生する費用。
⑧	事故調査費用	調査実施、報告書作成、行政対応、事故調査委員への謝金、弁護士を雇用する場合はその費用といった、主に人件費からなる費用。
⑨	対策・改善に係る費用	事故再発防止のための対策や改善にかかる費用。
⑩	罰金、課徴金、過料	業務上過失致死傷罪や行政取締法規の違反による罰金。行政罰による課徴金、過料。
⑪	保険料率の上昇	通常、保険を使うとその後の保険料が上がる。この保険料上昇分を事故の費用と見なす。
⑫	組織幹部の対応に係る費用	記者会見などを含む組織トップによる様々な事故対応にかかる費用。機会損失も含む。
⑬	離職率の増加	事故に起因して職場の魅力が低下し、離職率が増加する場合がある。能力の高い人材の離職や新人の獲得、教育にかかる費用。
⑭	企業価値の低下	事故による設備、装置、人的資源の喪失等に起因する企業価値の低下。
⑮	企業の社会的信用の低下	（企業間での影響）事故による休止期間中に同業者間での融通により市場対応した後、出荷再開後に供給ルートが自社品に戻らなかった場合の損失など。 （行政、周辺住民）官庁からの信用低下や周辺住民への配慮により操業再開に時間を要する場合にかかる費用など。 （消費者）事故により企業イメージが悪化した場合には就職先としての魅力が低下しうる。そのような場合の従業員確保にかかる費用など。
⑯	従業員の意欲低下	事故に起因して従業員の意欲が低下する場合がある。その場合の労働生産性の低下など。